

まちづくり政策についての意見交換会

テーブル：環境

コーディネーター：眞鍋達紀

書記：木村隆仁

出席者：越智忍議員・本宮健次議員・森田博議員

眞鍋達紀・木村隆仁・山本要介・越智俊・黒瀬太樹

【現状について】

- ・今治市のごみの現状について（平成 19 年度）

ごみ全体量は 68,402 t で前年より 891 t 減少（約 1.3%減）

市民 1 人・1 日当り 1,077 g 全国平均 1,116 g

処理費用 合計 2,356,653,775 円

歳入 合計 395,330,420 円

- ・今治クリーンセンターの使用期限について

平成 25 年 3 月末で契約期限が切れる。（契約延長は避けられない状況である。）

- ・新施設について

「可燃ごみ処理施設」と「リサイクルセンター」を整備

処理能力については、現今治クリーンセンターと同程度の規模を想定

処理方式、処理能力等詳細については検討中である。

- ・新施設候補地の反応

市長及び市職員の交渉により少しずつ前向きには進んでいるが具体的な所まではいっていない。

10 月中旬に香川県に施設を視察計画があり、住民の出席を呼びかけている。

- ・その他

校庭芝生化運動・・・維持管理には地域ぐるみで取り組みが必要である。

新エネルギー（バイオディーゼル燃料など）・・・市にどんどん提案して下さい。

【市議会議員から今治JCメンバーに対して】

今回は時間の都合上聞けませんでした。